久留:	米工業語	高等専門学	校開講年	度 令和02年度(	2020年度)	授業科目	電子情報実験	 矣	
科目基础				,			. =		
科目番号 5S09						専門 / 必	専門 / 必修		
		実験・	実習		科目区分 単位の種別と単位				
			 報工学科		対象学年 5				
開設期前期				週時間数 4					
教科書/教	材	初回の る。	ガイダンスで実験	(デキスト (プリント)	を配布する。参考	図書については、	プリントの各実績	験項目に記載してい	
担当教員		堺 研-	-郎,古賀 裕章						
到達目標	票								
2. 実験	で扱う各	原理を説明で 種半導体素子 扱い方を説明	や電子回路の動作	Fを説明できる。					
ルーブ!	ノック								
			理想的な到過	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1			各項目の実際	各項目の実験原理を説明できる.		各項目の実験原理を理解できる.		原理を理解できない	
評価項目2				実験で扱う各種半導体素子や電子 回路の動作を説明できる.		実験で扱う各種半導体素子や電子 回路の動作を理解できる.		種半導体素子や電子 理解できない.	
評価項目:	3		各種測定器(	各種測定器の扱い方を説明できる 各種測定器の扱		N方を理解できる 各種測定器の扱い方を理解できない.			
学科の発	到達目標	票項目との	関係						
教育方法	去等								
概要		電気回	路・電子回路・論	語理回路・電子計算機な で学習した知識の理解を	よど、特に情報工学	と関係が深い科目	で扱われている	項目から選んで基礎	
		1する.	提出されたしホー	- トは 提出した実験と					
		り帰る	こと。	を予習し、専門用語の	。実験はクラス全員 こいるが、実験装置 険開始時を締め切り 日の次の実験終了後 D意味等を理解して		. 、 天禄宋で 」 1女 (こ)	必要的。 10.00000000000000000000000000000000000	
	画	諸注意	こと。 :次回の授業範囲		)意味等を理解して	おくこと。		ひすが明で支がしか。	
		諸注意	できる。 記:次回の授業範囲 授業内容	Bを予習し、専門用語 <i>0</i>	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目相	西示		
	<b>画</b>		<ul><li>ごと。</li><li>: 次回の授業範囲</li><li>授業内容</li><li>実験ガイダンス</li></ul>	aを予習し、専門用語 <i>の</i> ス	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目4 実験のガイダン	票 スと班分けを実施	i <b>す</b> る	
	画	5帰る  諸注意   週   1週   2週	<ul><li>ごと。</li><li>(注: 次回の授業範囲</li><li>授業内容</li><li>実験ガイダンス</li><li>単相交流回路の</li></ul>	相を予習し、専門用語の ス D実験	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目村 実験のガイダン。 単相交流回路に	票 スと班分けを実施 ついて実験して学	i <b>す</b> る	
	画		<ul><li>ごと。</li><li>: 次回の授業範囲</li><li>授業内容</li><li>実験ガイダンス</li></ul>	相を予習し、専門用語の ス D実験	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目村 実験のガイダン。 単相交流回路にで 整流回路について	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 て実験して学ぶ	iする :ぶ	
	画 IstQ	ら帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの	Rを予習し、専門用語の ス D実験 食 D特性(その1)	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目村 実験のガイダン。 単相交流回路に 整流回路について トランジスタの村 ,電界効果トラン	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 て実験して学ぶ 寺性(その1)(バイ ンジスタ)について	iする ぶ ポーラトランジスタ C実験して学ぶ	
		ら帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの	Rを予習し、専門用語の ス D実験 食 D特性(その1)	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目村 実験のガイダン。 単相交流回路について 整流回路について トランジスタの村 , 電界効果トラン トランジスタの特 験して学ぶ	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 て実験して学ぶ 寺性(その1)(バイ ンジスタ)について 寺性(その2)(光半	する ぶ ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について9	
		り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験	Rを予習し、専門用語の ス D実験 検 D特性(その1) D特性(その2)	)意味等を理解して	超ごとの到達目村 実験のガイダン 単相交流回路について 整流回路について トランジスタの特 、電界効果トラン トランジスタの特 トランジスタの特 験して学ぶ TTLICの実験に	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 て実験して学ぶ 寺性(その1)(バイ ンジスタ)について 寺性(その2)(光半	する ぶ ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について	
受業計画		り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンス 単相交流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実態	Rを予習し、専門用語の R D実験 検 D特性(その1) D特性(その2)	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目村 実験のガイダンが 単相交流回路についい トランジスタの特 ト電界効果トラン トランジズ トランジズ TTLICの実験にご 論理回路につい	票 スと班分けを実施 ついて実験して学ぶ 寺性(その1)(バイ ンジスタ)について 寺性(その2)(光半 ついて実験して学 て実験して学ぶ	iする :ぶ ポーラトランジスタ C実験して学ぶ 導体素子)について! ぶ	
受業計画		り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換	Reference	)意味等を理解して	超ごとの到達目様 実験のガイダン。 単相交流回路にで 整流回路について トランジスタのは トランジスタのは トランジスタのは トランジスタのは 大ランジスタのな 大ランジスタのな 大ランジスタのな 大ランジスタのな 大ランジスタのな 大ランジスタのな 大ランジスタのな 大田では 大田では 大田では 大田では 大田では 大田では 大田では 大田では	票 スと班分けを実施 ついて実験して学ぶ き性(その1)(バインジスタ)について き性(その2)(光半 ついて実験して学 て実験して学ぶ について実験して	iする ボーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ	
授業計画		り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンス 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク	Reference	)意味等を理解して	超ごとの到達目様実験のガイダン。 単相交流回路について を流回路について トランジスタのは、電界効果トランシスタのは トランジスタのは 大ランジスタのは 大ランジスタのは 大ランジスタのは 大ランジスタのは はて学ぶ TTLICの実験にこいて A/D, D/A変換器 8ビットマイクロ	票  スと班分けを実施  ついて実験して学ぶ  寺性(その1)(バインジスタ)についる  寺性(その2)(光半  ついて実験して学  て実験して学ぶ  について実験して	iする ポーラトランジスタ (実験して学ぶ 導体素子)について! ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ	
授業計画		り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の	Rを予習し、専門用語の ス D実験 検 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1)	)意味等を理解して	超ごとの到達目村 実験のガイダン。 単相交流回路について 整流回路について トランジスタの特 、電界効果トラン トランジスタの特 が関係して学ぶ TTLICの実験にて 論理回路について A/D, D/A変換器 8ビットマイクロ 演算増幅回路の	票  スと班分けを実施  ついて実験して学ぶ  寺性(その1)(バインジスタ)について  寺性(その2)(光半  ついて実験して学  て実験して学ぶ  について実験して  はついて実験して	iする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について! ぶ て学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ	
受業計画	1stQ	り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の 演算増幅回路の	Rを予習し、専門用語の ス D実験 検 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1)	)意味等を理解して	超ごとの到達目村 実験のガイダン。 単相交流回路について 整流回路について トランジスタの特 ルランジスタの特 ルランジスタの特 トランジスタの特 大ランジスタの特 はでする は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	票 スと班分けを実施 ついて実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 のいて実験して学 について実験して学ぶ について実験して 実験(その1)につい 実験(その2)につい	iする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ  で学ぶ ついて実験して学ぶ ハて実験して学ぶ ハて実験して学ぶ	
受業計画		5   1   1   1   1   1   1   1   1   1	だ:次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の マルチバイブレ	Rを予習し、専門用語の ス D実験 検 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2)	)意味等を理解して	超ごとの到達目標 実験のガイダン。 単相交流回路について を流回路について トランジストラン トランシストラン トラントラン トラントラン トラントラン トラントラン トランシストラン トラントマイクト 実験して 第一覧 相幅回路の 東京を マルチン フィンシストラン 東京を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手	票  スと班分けを実施  ついて実験して学ぶ  寺性(その1)(バインジスタ)について  寺性(その2)(光半  ついて実験して学  て実験して学ぶ  について実験して  はついて実験して	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ	
授業計画	1stQ	り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	だ:次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の マルチバイブレ	Rを予習し、専門用語の ス D実験 食 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) レータの設計製作	)意味等を理解して	超ごとの到達目標 実験のガイダン。 単相交流回路について を流回路について トランジストラン トランシストラン トラントラン トラントラン トラントラン トラントラン トランシストラン トラントマイクト 実験して 第一覧 相幅回路の 東京を マルチン フィンシストラン 東京を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手を 大手	票 スと班分けを実施 ついて実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 のいて実験して学ぶ について実験して学ぶ について実験して 実験(その1)についま 実験(その2)につい ータについて設計 コニクスについて	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ	
授業計画	1stQ	り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の 実質増幅回路の マルチバイブレ	Rを予習し、専門用語の ス D実験 食 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) レータの設計製作	)意味等を理解して	超ごとの到達目標 実験のガイダンプ 単相交流回路について トランジスタの特別のである。 トランジスタの特別のである。 トランジスタの特別のである。 ドランジスタのは 大ランシスタのは 大ランシスタのは 大ランシスタのは 大ランシスタのは をビットマイクロ 演算増幅回路の マスクロ マスクロ マスクロ スクロ スクロ スクロ スクロ スクロ スクロ スクロ スクロ スクロ	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 て実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 ついて実験して学 て実験して学ぶ について実験して 実験(その1)につい 実験(その2)につい 一夕について設計 コニクスについて	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ	
受業計画	1stQ	り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実態 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実態 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の ブルチバイブレ パワーエレクト レポート執筆	Rを予習し、専門用語の ス D実験 食 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) レータの設計製作	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目材実験のガイダン。 単相交流回路にで整流回路について、 ト電アがスタの特別である。 ト電アンジが、 TTLICの実験にでいて、 A/D, D/A変換器 8ビットマイクに 演算増幅回路の マルチバイブレーパワーエレクトに レポート執筆に	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 て実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 ついて実験して学 て実験して学ぶ について実験して 実験(その1)につい 実験(その2)につい 一夕について設計 コニクスについて	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ	
授業計画	1stQ 2ndQ	り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実態 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実態 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の ブルチバイブレ パワーエレクト レポート執筆	Rを予習し、専門用語の ス D実験 検 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) レータの設計製作 トロニクスの実験	)意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目材実験のガイダン。 単相交流回路にで整流回路について、 ト電アがスタの特別である。 ト電アンジが、 TTLICの実験にでいて、 A/D, D/A変換器 8ビットマイクに 演算増幅回路の マルチバイブレーパワーエレクトに レポート執筆に	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 て実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 ついて実験して学 て実験して学ぶ について実験して 実験(その1)につい 実験(その2)につい 一夕について設計 コニクスについて	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ	
受業計画が期	1stQ 2ndQ	り帰る 諸注意 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の マルチバイブレ パワーエレクト レポート執筆 実験予備日	Rを予習し、専門用語の ス D実験 会 D特性(その1) D特性(その2) 会 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) レータの設計製作 トロニクスの実験	O意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目材実験のガイダン。 単相交流回路にで整流回路について、 ト電アがスタの特別である。 ト電アンジが、 TTLICの実験にでいて、 A/D, D/A変換器 8ビットマイクに 演算増幅回路の マルチバイブレーパワーエレクトに レポート執筆に	票 スと班分けを実施 ついて実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 ついて実験して学ぶ について実験して学ぶ について実験して学ぶ 実験(その1)につい 実験(その2)につい ータについて設計 コニクスについて	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ	
受業計画 デルコン 分類	1stQ 2ndQ	15   15   15   15   15   15   15   15	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の マルチバイブレ パワーエレクト レポート執筆 実験予備日	Rを予習し、専門用語の ス D実験 会 D特性(その1) D特性(その2) 会 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) レータの設計製作 トロニクスの実験	O意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目材実験のガイダン。 単相交流回路にで整流回路について、 ト電アがスタの特別である。 ト電アンジが、 TTLICの実験にでいて、 A/D, D/A変換器 8ビットマイクに 演算増幅回路の マルチバイブレーパワーエレクトに レポート執筆に	票 スと班分けを実施 ついて実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 ついて実験して学ぶ について実験して学ぶ について実験して学ぶ 実験(その1)につい 実験(その2)につい ータについて設計 コニクスについて	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ まりして学ぶ 実験して学ぶ	
受業計画 デルコン 分類	1stQ 2ndQ	15   15   15   15   15   15   15   15	大次回の授業範囲   授業内容   実験ガイダンプ   単相交流回路の実態   トランジスタの   トランジスタの   下TLICの実験   論理回路の実態   A/D, D/A変換   8ビットマイク   演算増幅回路の   ブリーエレクト   レポート執筆   実験予備日   の学習内容とま	を予習し、専門用語の   ス	意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目村 実験のガイダン。 単相交流回路にでいて、 ト電ンジストので、 ト電フングストランでで、 をでして、 下電サービーンで、 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年では 第2000年で 第2000年で 第2000年で 第2000年で	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 で実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 ついて実験して学で 実験して学ぶ について実験して はな(その1)についま験(その2)についータについて設計コニクスについて ついて学ぶる	でする ポーラトランジスタ (実験して学ぶ 導体素子)について (学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ (実験して学ぶ (実験して学ぶ ) (実験して学ぶ (実験して学ぶ ) (実験して学ぶ (実験して学ぶ ) (大学派 (大学派 ) (大学	
受業計画 前期 シカ類 評価割る	1stQ 2ndQ	15   15   15   15   15   15   15   15	だ: 次回の授業範囲 授業内容 実験ガイダンプ 単相交流回路の 整流回路の実験 トランジスタの トランジスタの TTLICの実験 論理回路の実験 A/D, D/A変換 8ビットマイク 演算増幅回路の マルチバイブレ パワーエレクト レポート執筆 実験予備日	Rを予習し、専門用語の ス D実験 会 D特性(その1) D特性(その2) 会 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) レータの設計製作 トロニクスの実験	O意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目材実験のガイダン。 単相交流回路にで整流回路について、 ト電アがスタの特別である。 ト電アンジが、 TTLICの実験にでいて、 A/D, D/A変換器 8ビットマイクに 演算増幅回路の マルチバイブレーパワーエレクトに レポート執筆に	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 で実験して学ぶ 寺性(その1)(バインジスタ)について 寺性(その2)(光半 ついて実験して学で 実験して学ぶ について実験して はな(その1)についま験(その2)についータについて設計コニクスについて ついて学ぶる	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ まりして学ぶ 実験して学ぶ	
前期	1stQ 2ndQ	5 帰る   諸注意   週   1 週   3 週   4 週   5 週   6 週   7 週   8 週   9 週   1 0 週   1 1 3 週   1 4 週   1 5 週   1 6 週   1 5 週   1 6 週   1 7 週   1 8 週   1 9 <u></u>	大阪回の授業範囲   授業内容   実験ガイダンプ   単相交流回路の実態   トランジスタの   トランジスタの   トランジスタの   トランジスタの   トランジスタの   トランジスタの   大河回路の実験   A/D, D/A変換   8ビットマ回路の   演算増幅回路の   マルチバマート執筆   実験予備日   の学習内容とます。   発表	Rを予習し、専門用語の ス D実験 検 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) シータの設計製作 トロニクスの実験 関達目標 学習内容の到達目	意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目村実験のガイダン。 単相交流回路にである。 ト電ンジストの特別でである。 ト電フングストタの特別である。 アフェアが、 TTLICの路にである。 海算増幅回路のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 で実験して学ぶ き性(その1)(バインジスタ)について き性(その2)(光半 ついて実験して学で 実験して学ぶ について実験して はついて実験して はしまり(その2)について りについて 設計 コニクスについて ひいて学ぶる	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について到 ぶ て学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ に実験して学ぶ 実験して学ぶ 実験して学ぶ 実験して学ぶ	
注意業計画を対する。 おおり おり	1stQ 2ndQ コアカリ	19 所名   諸注意   週	できる。   できる。	Rを予習し、専門用語の ス D実験 検 D特性(その1) D特性(その2) 検 器の実験 プロコンピュータの実験 D実験(その1) D実験(その2) シータの設計製作 トロニクスの実験 関達目標 学習内容の到達目 相互評価 0	意味等を理解して	おくこと。 週ごとの到達目村実験のガイダン。 単相交流回路について、 ト、電フンが果となった。 ト、電フンででででである。 アンでででは、 第一年では、 は、こと、 は、こと、 に、 に、こと、 に、こと、 に、こと、 に、こ、 に、こ	票 スと班分けを実施 ついて実験して学 て実験して学ぶ き性(その1)(バインジスタ)について き性(その2)(光半 ついて実験して学 でま験して学 でまして学ぶ はついて実験して 見コンピュータに はしついて 良ま験(その2)についータについて設計 コニクスについて ついて学ぶ る	はする ポーラトランジスタ て実験して学ぶ 導体素子)について ぶ  で学ぶ ついて実験して学ぶ いて実験して学ぶ いて実験して学ぶ ま験して学ぶ 実験して学ぶ 実験して学ぶ 実験して学ぶ ま験して学ぶ	